

第2学年道徳指導案

平成17年10月28日(金) 2校時

2年3組(男17名 女18名 計35名)

指導者 菊池 元子

畠山 奈穂 (すこやかサポート)

- 1 主題名 かくさないでしようじきに (1-(4) 誠実・明朗)
- 2 資料名 みかんの木のてら (出典 学研)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

第1学年及び第2学年の内容項目 1-(4) は「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直にのびのびと生活する。」となっている。誠実に、明るい心で楽しく生活する児童を育てようとする内容項目である。これは主に、第3学年及び第4学年では、1-(5)「正直に明るい心で元気よく生活する。」に発展し、第5学年及び第6学年では、1-(4)「誠実に明るい心で楽しく生活する」に発展している。

児童が、正直に行動することは自分に対しても人に対しても、明るい心で生活することにつながる。積極的に健康な自己像を描くには、さらに、自分自身に対する誠実さや、明るく楽しい生活を心掛ける姿勢を持つことが大切である。

この時期の児童は、自己中心的な面が残っており、自分が都合のいいようにごまかしをすることがあるが、あまり罪悪感を伴っていない場合がある。明るく誠実に振る舞うことの気持ちよさと大切さを考えることを通して、正直で素直に伸び伸びと生活できる気持ちを育てることが必要であると考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、まだ自己中心的な面が残っている児童が多い。例えば、王様じゃんけんゲームで皆が王様の方に注目している時に後出しをするとか、教師や友達が見ていないと掃除や草取りなど面倒くさい仕事を怠けたり、生活目標の反省等でできなかったのに守ることができたと答えてしまったりする児童がいる。他の人からほめられたい、叱られたくないという気持ちからうそをついたりごまかしをしたりしてしまうことが多い。しかし、そのことにあまり悪気があるわけではない。逆に、人が見ていなくても言われたことをきちんと守り、ごまかしをしない児童もいる。しかしそういう中には、自分自身の誠実さからごまかしをしないで正直に行動しているというより、もし見つかって友だちから責められたり教師から叱られたりするのがいやだという気持ちからきちんとした行いをしている場合も少なくない。

そこで、このような児童に、うそをついたりごまかしをしたりすると、自分自身が不快になり、心が晴れない状態になるということを感じ取らせたい。気持ちが安定し、心配なことや気掛かりなことがなければ、明るく朗らかに伸び伸びと生活することが出来ることを理解させていきたい。

(3) 資料について

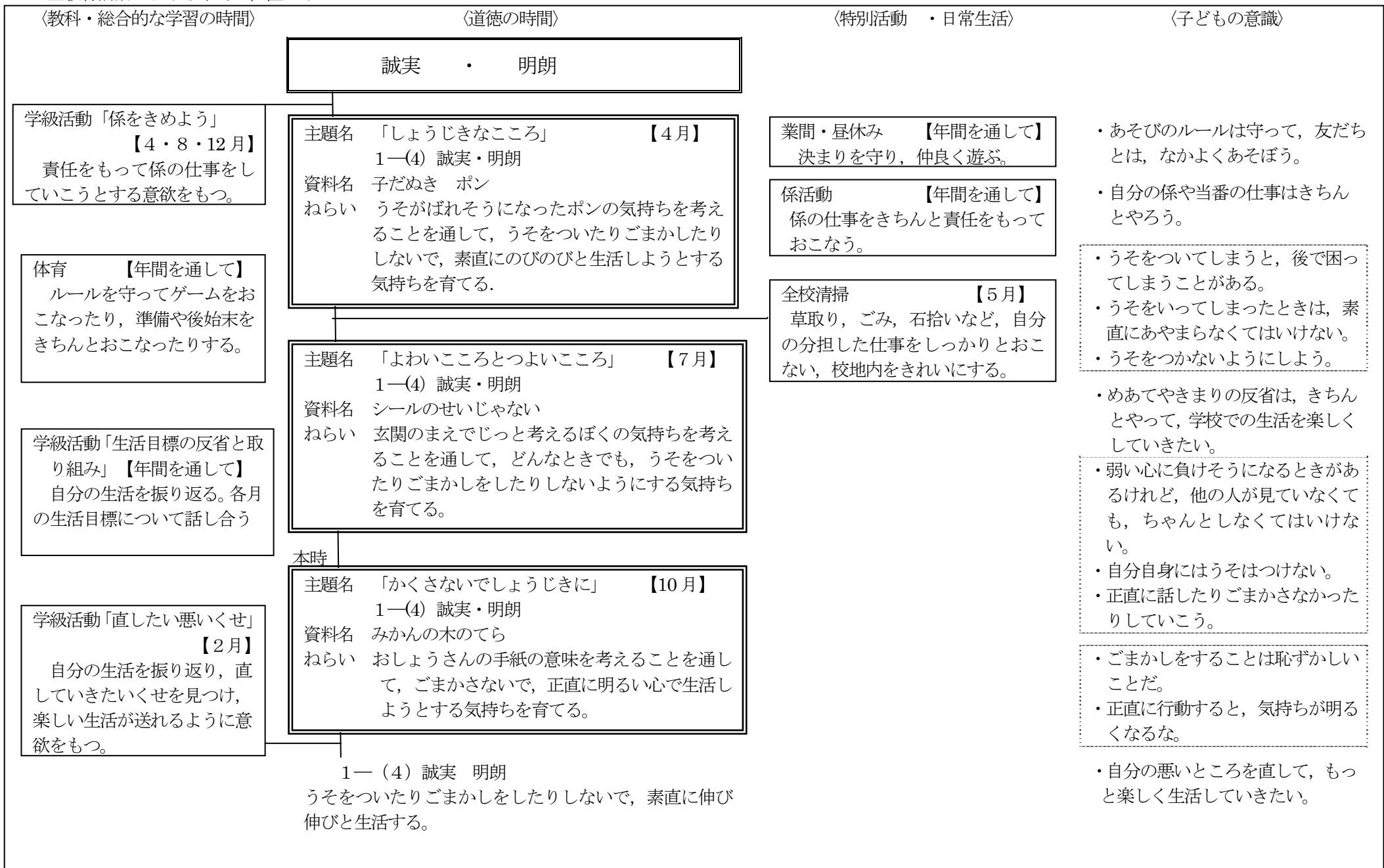
いちろう達が学校の帰りに通るお寺には、みかんの花がいっぱい咲いていて、秋になると、実がなって大きくなってきた。いちろう達は、こっそりとろうとしたが、和尚さんに見つかりにげていく。次の日に行くと、「みかんをとるな。まだすっぱいぞ。」というふだが木の枝にあり、みんなはこそこそと帰っていく。何日か、和尚さんのふだの通りみかんをとらずにいたいちろう達であったが、ある日お寺に行くとみかんの実が一つもないことに気づく。しかたなく帰りかけたとき、みかんがたくさん入ったかごを見つけ、そこにおいてあった和尚さんからの「ぬすんでたべたら、すっぱい」という紙を見て、いちろう達はこっそりとろうとしたことを考えはじめるという話である。

和尚さんの広く優しい心に触れることにより、ごまかすことの恥ずかしさに気づかせ、正直に行動することの大切さを考えさせていくのに適した資料であると考ええる。

(4) 授業の構想について

「深める」段階において、いちろう達が、いけないことと気付いているにもかかわらず、ついみかんに手を伸ばしてしまう気持ちに共感させるために、役割演技を取り入れる。また、和尚さんからの手紙を読んで、いちろう達が考える場面では、ワークシートを活用することで、じっくりとひとりひとりにいちろうの気持ちを考えさせたい。

4 全教育活動における本時の位置づけ



4. 全教育活動における本時の位置づけ

[教科の時間]

[道徳の時間]

[行事 日常生活]

[子どもの意識]

誠実 明朗

学級活動「係をきめよう」
【4月】
責任をもって係の仕事をしていこうとする意欲をもつ。

主題名 「しょうじきなところ」 【4月】
1－(4) 誠実 明朗
資料名 子だぬき ポン
ねらい うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする気持ちを育てる。

業間・昼休み 【年間】
決まりを守り、仲良く遊ぶ。

・あそびのルールは守って、友だちとは、なかよくあそぼう。

・自分の係や当番の仕事はきちんとやろう。

学級活動「直したい悪いくせ」
【2月】
自分の生活を振り返り、直していきたいくせを見つけ、楽しい生活が遅れるように意欲をもつ。

主題名 「よわいところとつよいところ」 【7月】
1－(4) 誠実 明朗
資料名 シールのせいじゃない
ねらい どんなときでも、うそをついたりごまかしをしたりしないようにする気持ちを育てる。

係活動 【年間】
係の仕事をきちんと責任をもっておこなう

・うそをついてしまうと、後で困ったりいやな気持ちになったりしてしまうことがある。
・うそをいってしまったときは、素直にあやまらなくてははいけない。
・うそをつかないようにしよう。

・めあてやきまりの反省は、きちんとやって、学校での生活を楽しくしていきたい。

学級活動「生活目標の反省と取り組み」 【年間】
自分の生活を振り返る。各月の生活目標について話し合う。

主題名 「しっかりやろうね」 【10月】
1－(2) 勤勉・努力
資料名 かきかたのじかんのこと
ねらい 勉強や仕事をしっかりとおこなおうとする気持ちを育てる

全校清掃 【5月】
草取り、ごみ、石拾いなど、自分の分担した仕事をしっかりとおこない、校地内をきれいにする。

・弱い心に負けそうになるときがあるけれど、外の人が見ていなくても、ちゃんとしなくてははいけない。
・自分自身にはうそはつけない。
・正直に話したりごまかさなかったりしていこう。

体育 【年間】
ルールを守ってゲームをおこなったり、準備や後始末をきちんとおこなったりする。

主題名 「かくささないでしょうじきに」 【10月】
1－(4) 誠実 明朗
資料名 みかんの木のてら
ねらい ごまかさなくて、正直に明るい心で生活しようとする気持ちを育てる。

「こころのノート」の活用
うそなんかつくもんか 【年間】
・読んで話し合い、うそをつかないようにしようという思いを深め

・自分の悪いくせを直して、もっと楽しく生活していきたい。

主題名 「じぶんの力で」 【1月】
1－(1) 節度・節制、自立
資料名 ねこの目
ねらい うそをついたりごまかしをしたりしないで、自分の力で最後までやり抜こうとする気持ちを育てる。

・ごまかしをすることは恥ずかしいことだ。
・正直に行動すると、気持ちが明るくなるな

1－(4) 誠実 明朗
うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。

5 本時の指導

(1) ねらい おしょうさんの手紙の意味を考慮を通して、ごまかさないうで、正直に明るい心で生活しようとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
<p>気付く</p> <p>7分</p>	<p>1 うそやごまかしをしてしまった時の気持ちを思い起こす。</p> <p>○うそを言ったり、ごまかしをしてしまったりしたときは、どんな気持ちがしますか。</p> <p>2 資料を読んで感想を発表し課題をつかむ。</p> <p>○この話を聞いて、どう思いましたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>おしょうさんからの紙を見て、いちろうはどんなことを考えたのでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・うそを言ったりごまかしたりするときは、ばれないかとドキドキする。 ・だまって取ろうとしたらだめだ。 ・おしょうさんはやさしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートは、どの児童も授業に集中出来るように支援する。 ・うそやごまかしをしてしまおうかと思うことはだれにでもあることをおさえ、価値への方向付けを図る。 ・最後の場面の感想をもとに課題をたてる。
<p>深める</p> <p>28分</p>	<p>3 「いちろう」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>○みかんの白い花がたくさんさいているのを見て、いちろうは、どんな気持ちになっているのでしょうか。</p> <p>○いちろうが、みかんに手をのばしたとき、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>○みかんが一つもないのを見て、いちろうはどんな気持ちになったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いいにおいだな。 ・実がなるのが楽しみだな。 ・たくさんとれそうだな。 ・やっとな大きくなつた。 ・見つかったら大変だ。 ・おいしそうだな。 ・黙って取るのはよくないかな。 ・楽しみにしていたのに。 ・きのうのうちに取ってしまうんだつた。 ・くやしいな。 ・おしょうさんにだまされたかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みかんがなるのを楽しみにしているいちろうの気持ちに共感させる。 ・いちろう達の役割演技を行い、取って食べたといういちろうの気持ちだけではなく、他の人のものを取るのはいくないという気持ちもあることに気付かせたい。 ・次の日も次の日も「まだとるな。」というふだがかかっていたこと、そのふだを守っていたことを押さえた上で、みかんが一つもなくて残念がる気持ちや期待を裏切られたいちろうの気持ちに共感させる。

	<p>◎「おいしくなったよ。みんなでおあがり。」という紙を見て、いちろうはどんなことを考えたでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう。 ・おしょうさんはやさしいな。 ・ごめんなさい。 ・黙って食べてしまうのはよくないな。 ・取ろうとして悪かったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書くことで、自分の考えを深め、約束通りにみかんが置いてあったことの驚きや喜びに気付かせる。
見 つ め る 7 分	<p>4 今までの自分を振り返る。 ○うそやごまかしをしようとしたが、しないでよかったと思ったことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しかられないように、嘘をつこうと思ったが、本当のことを言ったらすっきりした。 ・ゲームで反則をしたが正直に言ったので、最後まで楽しく遊ぶことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正直に行動した時の心地よさに触れさせたい。
ま と め る 3 分	<p>5 まとめをする。 ○ごまかしをしないで素直な心で生活をしていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからはうそやごまかしはしないようにしていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活に向けて、実践の意欲づけを図る。

6. 板書計画

みかんの木のてら

おしろうさんからの紙を見て、いちろうは どんなことを考えたのでしょうか

五月

いいにおい

いっぱいさいています

あき

この花がみかんのみになるんだよ。

- ・ いいにおい。
- ・ 楽しみ。
- ・ たくさんとれそう。

こっそり 手をのばす

- ・ やつと大きく。
- ・ 見つかったらたいへん。
- ・ おいしそう。
- ・ よくないかな。

絵

みかんをとるな。まだすっぱいぞ。

あと四、五日だ。まだとるな。

あと一日、あすまでおまち。

みかんがひとつもない

- ・ 楽しみにしていたのに。
- ・ とってしまっただった。
- ・ くやしいな。
- ・ だまされた。
- ・ たくさんあったのに。

絵

- ・ ありがとう。
- ・ やさしいな。
- ・ ごめんなさい。
- ・ わるかっとな。

おいしくなったよ。
みんなでおあがり。
ぬすんでたべたら、
すっぱいすっぱい。
みかんの木のてらのおしろう

絵

しようじぎに

あかるいところ

7 資料分析

(1) ねらい おしょうさんの手紙の意味を考えることを通して、ごまかさないうで、正直に明るいうで生活しようとする気持ちを育てる。

(2) 資料名 みかんの木のてら (出典 学研)

<p>主な場面</p>	<p>いちろうたちが、学校の帰りにお寺の前を通ったときに、みかんの木に、白い花がたくさんさいているのを見ている場面。</p>	<p>いちろうたちが、みかんに手をのばしたとき、ほんどうのしょうじがあき、みんながばらばらとにげていく場面。</p>	<p>おてらの中に入っていったいちろうたちが、みかながひとつもないことに気がついた場面。</p>	<p>大きな金色のみかながたくさん入ったかごの上にある紙を見て、いちろうたちがこっそりみかんをとろうとしたことを考え始めた場面。</p>
<p>把握すべき状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おてらのまえをとおると、いいにおいがします。 ・白い花がいっぱいさいています。 ・「この花が、みかんのみになるんだよ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・青いみかんのみがなつて、すこしずつ大きくなっていきます。 ・みかんの木の下にあつまりました。 ・「こらっ。」と大きなこえがして、ほんどうのしょうじががらつとあきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つぎの日もみんながみかんの木の下にあつまる ・なにかかかれたふだがかがっていました。 ・みかながひとつもないのです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まさおとよしおが、かごを見つけました。 ・大きな金いろのみかながたくさん入っていました。 ・かみが一まいおいてありました。
<p>主人公の心の動き</p>	<p>楽しみ 興味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(いいなあ。みがなつたらつとつて、たべてしまおう。) 	<p>罪悪感</p> <p>期待 恐れ 欲求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こっそり手をのばす ・ばらばらとにげました。 	<p>失望 怒り 悔しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こそこそとかえりました。 ・「あつ。」とこえをたてました。 	<p>誠実・明朗</p> <p>罪悪感 反省 感謝</p> <p>驚き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しかたなくかえりかけた。 ・こっそりとろうとしたことを考えはじめました。
<p>児童の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんとれそうだな。 ・実がなるのが楽しみだな。 ・いいにおいだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やつと大きくなつた。 ・見つかったらたいへんだ。 ・おいしそうだ ・とつて食べたいな。 ・だまつてとるのはよくないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしていたのに。 ・きのうのうちに取つてしまつた。 ・くやしいな。 ・おしょうさんにだまされたかな。 ・たくさんあつたのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取ろうとして悪かつたな。 ・ごめんなさい。 ・黙つて食べてしまうのはよくないな。 ・和尚さんはやさしいな。 ・ありがとう。 ・みかんをとつてくれるなんてびっくりした。
<p>基本発問</p>	<p>○みかんの白い花がたくさんさいているのを見たとき、いちろうはどんな気持ちになつていようか。</p>	<p>○いちろうがみかんに手をのばしたときどんなことを考えたのでいようか。</p>	<p>○みかながひとつもないのを見て、いちろうはどんな気持ちになつたのでいようか。</p>	<p>◎「おいしくなつたよ。みんなでおあがり」といふ紙を見て、いちろうはどんなことを考えたのでいようか。</p>